

社会資本整備計画 事後評価書

計画の名称	三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤及び安全で快適な生活環境を形成するまちづくり（防災・安全）		
計画の期間	平成27年度～令和元年度（5年間）	交付対象	宮古市
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 宮古広域生活圏や三陸地方拠点都市地域の中心都市としての機能を高め、生活圏の緊密化と交流圏の拡大を促進する 災害、事故等へ迅速に対応するための機能を高め、安全な市民生活の確保と安心して快適に暮らせる環境づくりを推進する 		
事後評価実施時期	令和3年7月	公表方法	宮古市ホームページによる公表

計画の成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 H27当初	中間目標値 H29末	最終目標値 R1末	
・集落等から病院等への公共、公益施設へ向かう幹線道路までの時間短縮率【 $100 - (\Sigma \text{整備後走行時間} / \Sigma \text{現況走行時間}) \times 100 (\%)$ 】	0%	11%	20%	
・道路の機能を保全するために対策が必要な個所の整備率【 $\text{対策済箇所数} / \text{要対策箇所数} \times 100 (\%)$ 】	0%	43%	100%	

上段：計画 / 下段：実施

全体事業費 (A + B + C)	1,017百万円	A	1,017百万円	B	-	C	-	効果促進事業の割合 C / (A + B + C)	0.0%
	657百万円		657百万円		-		-		0.0%

1. 交付対象事業の進捗状況																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	R1		
A01-001	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	改築	(1)磯鶏金浜線 八木沢ほか	現道拡幅 L=1.3km	宮古市	■	■	■	■	■	202	
											■	■				200	
A01-002	道路	雪寒	宮古市	直接	宮古市	市町村道	改築	(他)松山線 松山工区	道路改良 L=1.9m	宮古市	■	■	■	■	■	183	
											■	■	■	■	■	124	
A01-003	道路	雪寒	宮古市	直接	宮古市	市町村道	修繕	(他)箱石川向線 箱石ほか	舗装修繕 L=1.7km	宮古市	■	■	■	■	■	130	
											■	■	■	■	■	48	
A01-004	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	修繕	(他)内ノ沢線ほか 長沢ほか	側溝補修 L=2.0km	宮古市	■	■	■	■	■	95	
																0	
A01-005	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	修繕	(他)本町線ほか 裏角地踏切ほか	踏切改良 N=3箇所	宮古市		■	■	■	■	90	
												■				28	
A01-006	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	修繕	(他)大判川9号線ほか 払川ほか	舗装補修 L=2.0km	宮古市	■	■	■	■	■	100	
											■	■				124	

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	R1		
A01-007	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	修繕	(1)藤原小山田線 小山田工区	擁壁補修 L=0.1km	宮古市	■	■				44	
											■	■					41
A01-008	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	修繕	宮古地区道路改修事業 長沢ほか	舗装改修 L=10.0km	宮古市				■	■	130	
														■	■		49
A01-009	道路	一般	宮古市	直接	宮古市	市町村道	修繕	(他)磯鷲7号線	法面・擁壁等補修 L=0.05km	宮古市	■	■	■			43	
											■		■				43
合 計													1,017				
合 計													657				

B 関連社会資本整備事業												上段：計画 / 下段：実施						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											H27	H28	H29	H30	R1			
合 計																	0	
合 計																	0	

一体的に実施することにより期待される効果

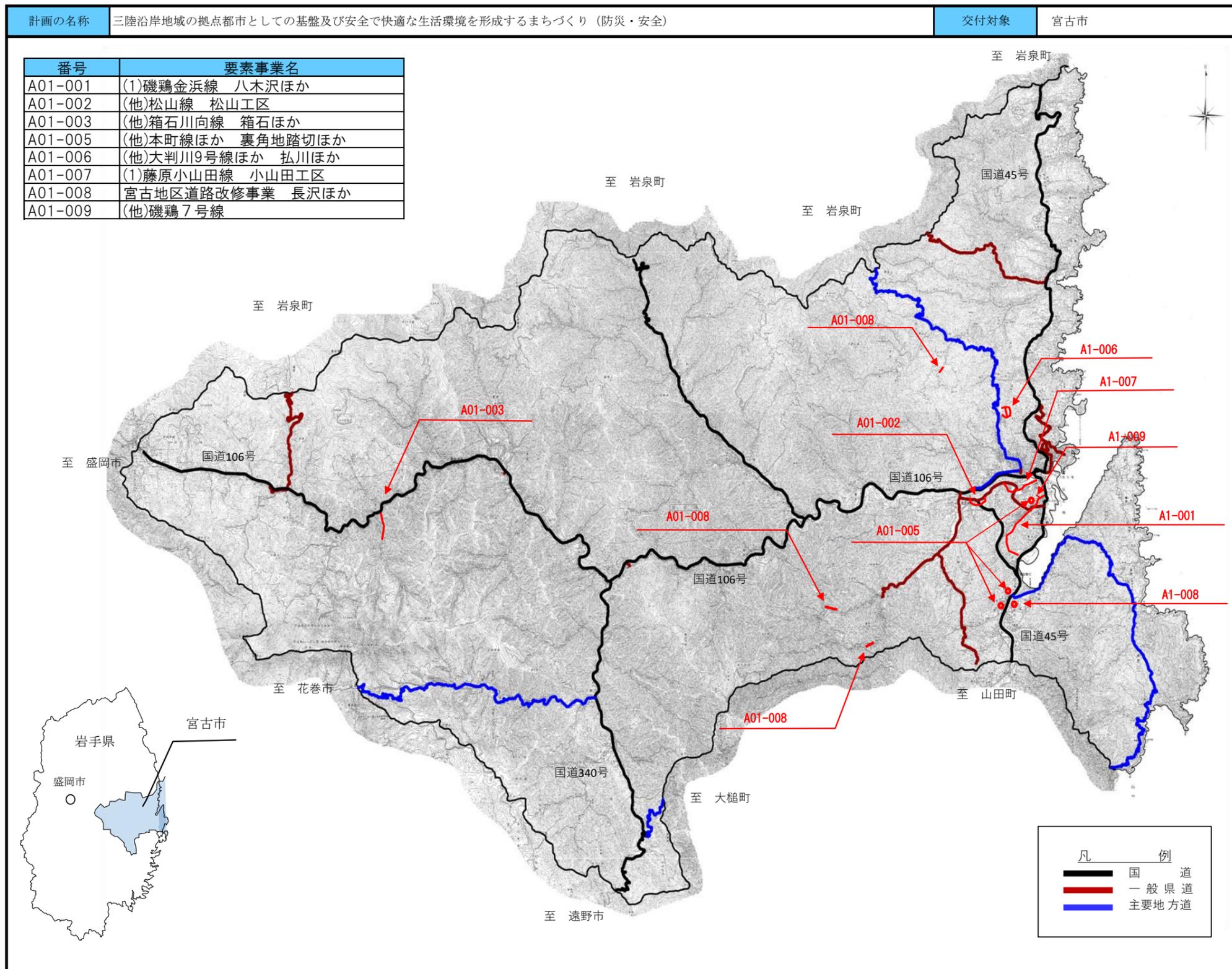
C 効果促進事業												上段：計画 / 下段：実施						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											H27	H28	H29	H30	R1			
合 計																	0	
合 計																	0	

一体的に実施することにより期待される効果

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事により運転時間の短縮率が向上し、アクセス向上の観点で効果を発揮した。 ・道路拡幅により相互通行が可能となった路線や、急カーブ箇所等に対し線形改良を実施した路線については運転時間の短縮に加え、交通の安全性が向上した。 			
II 定量的指標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・集落等から病院等の公共、公益施設へ向かう幹線道路までの時間短縮率【$100 - (\Sigma \text{整備後走行時間} / \Sigma \text{現況走行時間}) \times 100 (\%)$】 	最終目標値	20%	達成状況に対する評価等	道路拡幅工事や道路改良工事により走行時間が短縮され、道路の円滑な交通の確保が達成された。
		最終実績値	22%		
	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の機能を保全するために対策が必要な個所の整備率【$\text{対策済箇所数} / \text{要対策箇所数} \times 100 (\%)$】 	最終目標値	100%	達成状況に対する評価等	急カーブや幅員狭小箇所、老朽化した舗装など安全な交通を確保するうえで対策を要する箇所に対し道路改良工事を実施し、安全な通行の確保がなされた。また、舗装補修等必要な対策を実施することで道路機能の保全が図られた。
		最終実績値	100%		
III 定量的指標以外の効果発現状況					

3. 今後の方針等	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き事業を継続していくことで、更なる効果発現を図る。 ・事業の効果を評価する指標について、ハード面の事業実施により算出された整備率だけでなく、間接的な効果発現状況を評価できるようなアウトカム指標を検討する。 ・事業実施後の維持管理費節減に配慮した取り組みを行うよう検討する。 	

(参考図面)



主要事業（代表工区等の紹介）

A01-005(他)本町線ほか 裏角地踏切ほか

■概要

JR東日本による踏切への遮断器取付等の改良事業に併行し、踏切内への歩道設置や路面舗装等安全対策を実施した。

（実施箇所）

船場踏切（磯鶏地区）



裏角地踏切（津軽石地区）



釜石第一街道踏切（津軽石地区）



A01-009(他)磯鶏7号線

■概要

一級市道磯鶏金浜線と、一級市道磯鶏南通り線を結ぶ生活道路であり、周辺には磯鶏小学校や磯鶏保育所等が位置し、交通量の多い路線。

経年変化や東日本大震災の影響による擁壁部の傾きの発生や路面損傷も進んでいたことから、安全な通行確保のため、擁壁補修等必要な工事を実施した。

